

# ふれあい曾山医院

2005年11月号(第39号)

発行人：曾山 信彦

兵庫県淡路市志筑1391-9

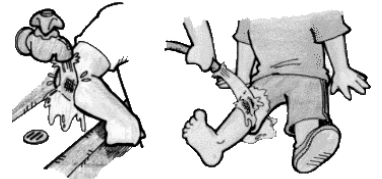
Tel: 0799-62-5566

http://www.h6.dion.ne.jp/~soyama

## 火傷に気を付けよう

朝夕の寒さが身にしみる季節となりました。冬になるにつれインフルエンザや転倒、思わぬ病気、事故などが増えてきます。

最近では炎や熱湯、アイロンなどによる『火傷』暖房器具による『低温火傷』なども増えています。そこで今回は火傷について少しお話をさせていただきます。



やけどをしたら、すぐに水で冷やす

●火傷（炎・熱湯・アイロン・てんぷら油などに触れて皮膚がただれる事。）  
《応急処置》すぐに水で冷やす。10分～30分かけて冷やす。冷やしにくい部位はぬれタオルなどで冷湿する。※チンク油・アロエなどを塗るのは禁物。

服の上から火傷をした場合	無理に服を脱がさず水をかけて冷やす。
顔や腕にやけどをした場合	後でくっついて取れない事がある為、メガネや時計、貴金属を取り外し冷やす。
水泡ができた場合	破らないようにし清潔なタオル等に包んで感染を避ける。決して傷口には何も塗らない。

《火傷をおこしやすい物》

- ・加湿器の蒸気・トースター・ストーブの上部、拭き出し口・焚火・熱湯・お風呂・料理、てんぷらの油等

●低温火傷（45度以上のものを3時間以上皮膚に接する事により起きる。一見軽症に見えるが重症の場合が多い。）

《応急処置》水で冷やしても効果がない。早めに医師の診察を受ける。

《低温火傷を起こしやすい物》

- ・ホットカーペット・カイロ・ファンヒーター・ハロゲンヒーター等の暖房器具

《防止策》

- ・カイロは下着の上から使用する。・あんかはタオル等で包む。
- ・ファンヒーターは低めの設定温度にしておく。又、ハロゲンヒーターは正面に熱が集中しやすく90度になる事もあるので常に首振り機能を使う。
- ・ホットカーペットは温度を上げすぎず、特に寝返りのうてない赤ちゃんや、お年寄りの方への使用は避ける。

火傷は、深さと広さによって異なります。軽い火傷といっても油断は大敵です。化膿するとすぐに深い火傷に移行してしまいますので、できるだけ早く医師の診察を受ける事が重要です。

火の取り扱いに注意し、暖房器具の使い方間違わないように暖かく過ごしましょう。

(看護師 西岡博子)

## 漢方入門 ⑱

今回は、めまいの漢方治療についてご紹介させていただきます。

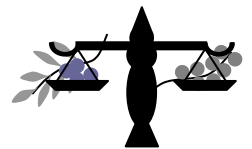
めまいには少しフラットとする程度の軽いものから、天井や壁がぐるぐる回るように感じるものまでいろいろなタイプがあります。

漢方では、主に水毒（水分の代謝異常）から起こると考えます。水の代謝が悪いのが原因ですから、水はけをよくする漢方薬を用いますが、その代表的な処方茶桂朮甘湯（リョウケイジュツカントウ）です。茶桂朮甘湯（リョウケイジュツカントウ）は茯苓（ブクリョウ）や朮（ジュツ）という水毒を治す生薬と桂皮（ケイヒ[薬用シナモン]）というのぼせを治す生薬を組み合わせたもので、のぼせや立ちくらみなどの症状も併せ持つ方に非常に効果があります。

また、胃腸が虚弱で頭痛や冷えを伴う場合には半夏白朮天麻湯（ハンゲビヤクジュツテンマトウ）を、雲の上を歩いているような感じがして足元が心もとないと言う場合には真武湯（シンブトウ）が使われます。

突発性難聴に伴うめまいなどで早期に入院した方がよい場合を除けば、漢方治療が効果的な場合も数多くあります。

めまいでお困りの患者様がいらっしゃいましたらお気軽にご相談下さい。



今回の題字は、読者の方にお書きいただきました。